



< 通信【飛騨っ子】 >

令和6年11月15日発行 NO8  
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係  
 家庭教育推進専門職：水口 悟  
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)  
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

## 保護者の学ぶ機会

◆ 高山社会福祉会 新宮保育園 話そう!語ろう!わが家の約束運動 行事+講演会+在宅取組  
 ○主催: 保育園 ○内容: わが家の約束運動 ○期間: 夏休み 基本的な生活習慣 思いやり

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カード

家庭教育を実践する日は 毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束宣言

- おへやから だいどころまで おおばあの手をひいてあげる。
- おおばあの手をとどかないものをとってあげる。

月日	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7
曜日	日	月	火	水	木	金	土
約束を守りましたか	○	×	○	○	○	○	×

子どもから 家族へのメッセージ

あかちゃんのおせわをするよ。  
おもたにもつをもつよ。

保護者から 子どもへのメッセージ

小さい子やおとしよりにやさしい〇〇ちゃん。まわりをみてききかかせてたくさんおてつだいしてくれ、すばらしい。

子どもから家族へのメッセージ

- あかちゃんのおせわをするよ。
- おもたにもつをもつよ。

新宮保育園では毎年夏休み前の学級懇談会にて、新宮小学校の校長先生からは「基本的な生活習慣」また松倉中学校の主幹教諭の先生からは「睡眠の大切さ」についてのお話を聞く機会を位置づけています。家庭教育を進める上でも、園と小・中学校が連携し発達段階に応じた取組を行うことは大切です。また、講話の内容に合わせ、夏休み中の「わが家の約束」運動や「眠育」の取組をタイミングよく呼びかけています。参考資料として、県から配布される「わが家の約束運動」のリーフレットやニュースレターを配布しています。

わが家の約束宣言

- おへやからだいどころまで おおばあの手をひいてあげる。
- おおばあの手のとどかないものをとってあげる。

家族から子どもへのメッセージ

小さい子やおとしよりにやさしい〇〇ちゃん。まわりをみてききかせてたくさんおてつだいしてくれ、すばらしい。

保護書様 令和6年8月19日 新宮保育園

眠育への取り組みについて

残暑の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、保育園の活動に対しましてご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、高山市で取り組んでいる「眠育」に新宮保育園でも保護者の方と一緒に取り組んで子どもたちの睡眠の質の向上につなげたいと思います。

眠育とは、子どもたちが心身ともに健やかに成長するためには質の良い眠りの時間が大切であることを学んでいくことです。今一度、親子で睡眠について考え生活リズムを整えていきたいと思っております。

子どもの眠りは、ただ眠りの時間さえ確保できていれば良いというものではなく、そのリズム(時間帯)が質の良い眠りに極めて重要なものです。そこで、睡眠表を記録し眠りの質の良さについて考えていただきたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

眠育票の提出日 9月6日(金)  
 眠育票は2週間つけていただき提出をお願いします。

岐阜県家庭教育についての学ぶ動画の「生活リズムについてもよかったですら参考にさせていただきます。

生活リズム

夏休みなど、長い休業で夜遅くまで起きている。「昼間ぼーっとしている。大丈夫かな?」といった心配はありませんか。生活リズム(早寝早起き朝ごはん)が子どもの体や成長に大切であることを再確認しましょう。(7分13秒)

園長さんは核家族が増えている中、「保護者の皆さんに子育ての様々な情報を届けたい!」「保護者の皆さんが、届けられた案内や資料を手に取り「はっ」と思う機会を大事にしてほしい」と話されました。

「眠育」の取組についての案内文には、関連した県の動画教材を紹介し、より効果的な情報を発信しています。(県事務所HP > 動画教材一覧表 > スクリーンショット)

眠育とは、子どもたちが心身ともに健やかに成長するためには、質の良い眠りの時間が必要であることを学んでいくことです。

岐阜県家庭教育について学ぶ動画

「生活のリズム」についても、参考にご覧いただきたいと思います。

<案内文より>

生活リズム

夏休みなど、長い休業で夜遅くまで起きている。「昼間ぼーっとしている。大丈夫かな?」といった心配はありませんか。生活リズム(早寝早起き朝ごはん)が子どもの体や成長に大切であることを再確認しましょう。(7分13秒)

<県の動画教材を掲載した案内文>

◆ 下呂市立尾崎小学校 PTA まごころ委員会の取組



□ ハッピーファミリーデー（6月・11月） 在宅取組型 思いやり 自立心

昨年度からスタートした【ハッピーファミリーデー】。メディアへの関わり方も含め、家族がふれ合う時間を増やすための取組です。多様なかたちでの家族の団らんを楽しんでいただけたらと思います。 <案内文より>

令和6年度 尾崎小学校PTA

### 「ハッピーファミリーデー」の実施について

日頃は、PTA活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。昨年同様、メディアへの関わり方も含め、家族がふれ合う時間を増やすための取組です。この取組を通して、多様なかたちでの家族の団らんを楽しんでいただけたらと思います。

**【実施期間】6月7日(金)～23日(日)**

**【取組むこと】**

- 1 取組むことを家族で相談して決めます。
  - 【たとえば...】
  - ・家族みんなでエピソードトークやさいころトーク
  - ・家族でボードゲーム
  - ・家族で一緒に活動
- 2 家族みんなで取組みます。
- 3 取組みを終えての感想を家族で交流します。
  - ・家族のことも意外に知らないことがあったあ。
  - ・家族みんなで〇〇へお出かけして楽しかったよ。
  - ・時にはテレビやスマホを使わない活動もいいね。
- 4 ご家族で交流した感想を情報に記入します。

別紙「ハッピーファミリーデー」を、6月24日(月)にご提出ください。

令和6年度 尾崎小学校PTA

### ハッピーファミリーデー

取組期間：6月7日(金)～23日(日)

4年 名前

テレビ、ゲーム、パソコン、スマートフォン、携帯電話などにたよらず、家族みんなで楽しむ活動に取り組みませんか。

たとえば...
 

- ・親子読書
- ・家族みんなでエピソードトーク
- ・みんなでお出かけ
- ・一緒に活動

ご家族で取組むこと

さんぽ

取組みを終えての感想

家族で話しながら散歩をしました。ぼくは妹のベビーカーを気をつけておきました。近所のおばさんに会ってお話をしました。ひさびさりで楽しかったです。

尾崎小会報 7月17日号

### 「ハッピーファミリーデー」を実施しました

6月7日～23日まで「ハッピーファミリーデー」を実施しました。それぞれの家庭の事情に合わせ、さまざまな取組をしていただきました。

1 取組んだ内容の数(複数回答)

スポーツ	0	5	10	15	20	25
ゲームや遊び	21					
お出かけ	20					
自然体験	15					
クッキング	12					
ものづくり	4					
環境整備	2					
親子読書	2					

2 具体的な取組内容

- ・お出かけ
  - ・お散歩
  - ・公園、動物園、水族館
  - ・お祭り、お祭り、お祭り
  - ・お祭り、お祭り、お祭り
- ・スポーツ
  - ・家族で読書
  - ・家族で読書
  - ・家族で読書
  - ・家族で読書
- ・自然体験
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
- ・クッキング
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
- ・ものづくり
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
- ・環境整備
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
- ・親子読書
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩
  - ・お散歩

- 1 取組むことを家族で相談して決めます。
- 2 家族みんなで取組みます。

- 3 4 家族で感想を交流し記入します。
  - ・家族で話しながら散歩をしました。ぼくは妹のベビーカーを気をつけておきました。近所のおばさんに会ってお話をしました。ひさびさりで楽しかったです。(子ども)

□ わが家の一日コックさん + 1 家庭 1 ボランティア（夏休み） 在宅取組型 思いやり 自立心

尾崎小学校 PTA では、食育と親子のふれあい活動を推進しています。今年の夏休みも親子で話し合っ、子どもたちの作る料理にぜひチャレンジしてください。

2つの取組をクリアファイルに綴じて各学年毎に回覧しています。

左表) わが家の一日コックさん  
右表) 1 家庭 1 ボランティア

夏休みを利用して各家庭でボランティアに取り組んでみましょう。

令和6年度 下呂市立尾崎小学校PTA

### わが家の一日コックさん

尾崎小学校PTAでは、食育と親子のふれあい活動を推進しています。今年の夏休みも親子で話し合っ、子どもたちの作る料理にぜひチャレンジしてください。

今年 名前

「わが家の一日コックさん」をテーマにしたことを目標に記録してください。

夏野菜カレー

テーマ: 夏バテ防止  
栄養まんてん!! 夏野菜カレー

- ・子ども
 

わたしは、ボランティアの人や地域の人と一緒に四美ナリエのキャンドル並べをしました。
- ・保護者
 

四美の子ども会メンバー全員で団結し、アイデアを出し合って並べ、綺麗な模様になるよう工夫しているところが良かったです。

1家庭1ボランティアに進んで取組もう

夏休みを利用して、各家庭でボランティアに取り組んでみましょう。記録をクリアファイルに綴じて各学年毎に回覧しています。

下呂市立尾崎小学校PTA

学年 氏名 年齢

4

活動の様子を写真や絵で紹介してください

1家庭1ボランティアの内容と感想

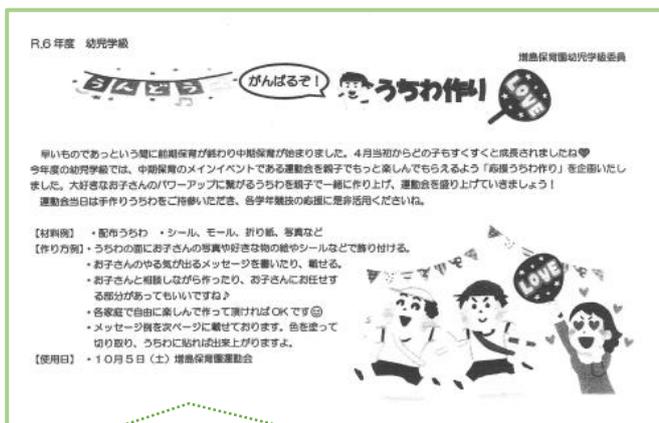
わたしは、ボランティアのしきりとして、四美ナリエのキャンドル並べをしました。

四美の子ども会メンバー全員で団結し、アイデアを出し合って並べ、綺麗な模様になるよう工夫しているところが良かったです。

尾崎小学校は、令和元年度よりコミュニティ・スクールとして運営されています。運営協議会には保護者の代表として、PTA 会長と PTA まごころ委員がメンバーとして位置づいています。地域みんなで子どもを育てる上で、学校や保護者との連携はとても大切です。学校運営協議会の仕組が家庭教育を支えています。

◆ 吉城福祉会 増島保育園 ～ 応援うちわ作り ～ 在宅取組 家族の大切さ 自立心

○期日:令和6年10月5日(土) ○主催:幼児学級委員会 ○場所:運動場



がんばれ ファイト  
 かわいい フレー  
 かわいい フレー  
 かわいい フレー



今年度の幼児学級では、中期保育のメインイベントである運動会を親子でもっと楽しんでもらえるよう「応援うちわ作り」を企画しました。  
 大好きなお子さんのパワーアップにつながる‘うちわ’を親子一緒に作り上げ、運動会を盛り上げていきましょう！ <案内文より>

【作り方例】  
 ・お子さんのやる気が出るメッセージを書いたり載せたりする。  
 ・お子さんと相談しながら作ったり、お子さんに任せる部分があったりしてもいいです。



飛騨市では、年度初めに子育て応援課が主催する「幼児学級運営会議」が位置づいています。運営会議をもとに、市内全ての園の「幼児学級委員会」が家庭教育学級を計画し運営しています。

市行政による家庭教育学級運営への応援が、保護者の子育てについての情報提供また学びやネットワークづくりを持続可能にしています。

みなさんの作成されたうちわは、とても個性的ですばらしい！わが子の写真や名前を載せたり、わが子が大好きなキャラクターを描いたり、うちわの周りにはひらひらの飾りをつけたりなどなど…。

入退場のときに、競技のときに、演技のときに、家族みんなが交代に手に持ち、「○○～!」と声援を送りながらうちわを振っています。うちわで広がるメッセージとコミュニケーション。園児を取り巻く保護者と保育士みなさんの輪が華やいていました。



<保護者の感想>

- ・運動会のときにうちわを振ったら、親がどこにいるのかがわかりやすかったようで、何回も手を振り返してくれました。うちわを作ったときから気に入ってくれ、運動会後も家の中で持ち歩いてくれています。
- ・子どもにどんなうちわがいいかを聞くと、大好きなキャラクターの名前をあげたため一緒に考えながら作成しました。「○○が応援してくれるから、早く走れるよー!」などと嬉しそうに、当日までうちわでの応援を楽しみにしていました。どんな練習をしているのかを話したり運動会への楽しみな気持ちを自然に共有したりするきっかけになったと思います。
- ・各家庭の個性が出ていて、うちわがあることにより一層保護者参加型というか一体感のある運動会に感じました。

◆ **企業内家庭教育研修** 株式会社 打江精機

○期日:令和6年10月15日(火) 16:10~17:00 ○会場:社内の研修室

○講師:家庭教育推進専門職 ○テーマ:わが子育てを見つめる時間をつくりましょう



<県による啓発資料>

・**企業内家庭教育研修の推進**

岐阜県では、企業・事業所における家庭の教育力の向上と地域全体での子育ての推進を目的とした職場研修を推進しています。園や学校、市町村が主催する家庭教育学級への参加が困難な保護者も含め、広く家庭教育についての学びの機会を提供しています。

子育てや家庭教育について学ぶ機会に出会うことは、あるようでなかなかないのではないのでしょうか。

しかし、研修後のアンケートを読ませていただくと、参加者全ての方に「気づきや学び」があり、この「気づきや学びを大切にしていこう」という気持ちが伝わってきます。

仕事中心となりがちな生活の中で、子育て・家庭教育についての「気づきや学び」を発見したり共有したりし、親子共々豊かな時間が生み出されることを願い、この事業を推進しています。大切なわが子(ご家族)への「気づきや学び」を積み重ねてほしいと思います。

打江精機さんでは、2回目の取組となりました。社員の方々が仕事を終えてからの約40分程度の時間を研修としました。1回目は、男性社員の方が6名、今回は男性と女性の社員の方8名が受講をされました。

**Q. 本日の研修テーマと内容について** (大変良い72%・良い28%)

- ・自分と子どもの思いがすれ違うことがあるけれど、考え方や捉え方でポジティブになることがわかりました。
- ・すぐにイライラしてしまい怒鳴ってしまうことがあるので、リフレーミングの考え方で冷静になって相手の意見もしっかり聞きたいなと思いました。
- ・リフレーミングについては、家庭でも職場でも活かせると思います。
- ・仕事の疲れなどを理由に一方向的に子どもを怒って(イライラして)しまうことが多いため、自分自身を見直したいと思います。

**Q. 企業で家庭教育についての研修を実施することについて** (ぜひ受けたい45%・受けても良い55%)

- ・なかなかこのような研修を受ける機会がないので、積極的に受講したいと思います。
- ・いろいろな悩みなどが、クリアになると思います。
- ・まだまだたくさん学ぶことができ、奥深いと思います。



職場内家庭教育研修

- **職場内で、わが子育てを見つめる機会づくり**  
家庭教育の大切さ・楽しさ・子育てネットワークづくり

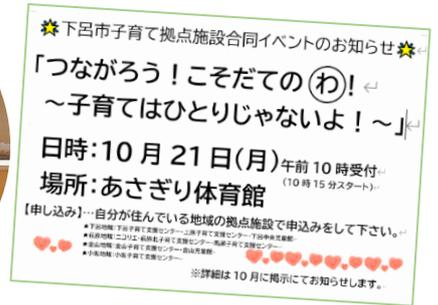
- **仕事も家庭も、より充実する職場づくり**  
よりお互いを大切にする職場・より明るい職場・より元気の出る職場



<職場の仲間と子育てについて学ぶ機会>

◆ 下呂市子育て支援拠点事業担当者会 合同イベント 「つながろう！こそだてのわ！」

○主催:子育て支援拠点事業担当者会 ○期日:令和6年10月21日(月) ○場所:あさぎり体育館



下呂市では、毎月、子育て支援拠点事業担当者会(担当者:子ども家庭課・地域振興課・子育て支援センター・保育ステーション・児童館の職員)が開催されています。昨年度に続き第2回目となる「合同イベント」も、この担当者会を通して行われました。

作成された計画書には、午前9時に集合してから終了までタイムスケジュールと詳細な役割分担がびっしりと示されています。各プログラムで使用するグッズも、参加者の気持ちを大切に作成されたものばかり。担当課の方に「合同イベントの開催までに、かなり時間をかけたのですか?」と尋ねると、「それは、もう...!」と満面の笑顔で即答されました。



担当者の皆さんはとても仲がいです。そして、下呂市の子育て支援にとっても前向きです。手作り感満載の取組が、参加者にあたたかさを伝えていきます。そして、何より参加者の全ての人に「子育てはひとりじゃないよ!」というメッセージを伝えていきます。時間をかけてつくり上げた合同イベントは、「下呂市みんなで子育て」という気運を高めています。



<参加者の感想> 参加人数:親子56組(合計123名)

- ・親子とても楽しい時間が過ごせました。みんなが楽しめるイベントを計画してくださって感謝です。「なんでもバスケット」では、午後9時前に寝ている子がすくなくてちょっとホッとしました。(笑)少しでも早く寝るようにします。(汗)
- ・下呂市内の未満児さんが集まって交流できたので、すごく楽しかったです。親も子ども刺激を受けて、「明日からも頑張ろう」と思いました。
- ・初めて参加させていただき、こんなにたくさんの地域のお子さんやお母さんお父さんが集まって交流でき楽しかったです。「子育てはひとりじゃないよ!」の合言葉もステキな言葉だと感じました!!



動物園に行ったことがある人~!?

<プログラム⑤ なんでもバスケット>

<担当者の感想>

- ・初めは、下呂市全拠点のイベントがどのようなものかイメージがわかず、約100人でどうまとまって活動するのか想像できませんでした。当日は、親さんたちがとても協力的で親子で楽しんでいる姿が見られ、自分も楽しい気持ちで参加できて良かったです。
- ・拠点チーム(勝手に命名(笑))の皆さんの協力とチーム力に感謝です!



■ 「話そう！ 語ろう！ わが家の約束」 運動！

運動の目的は、家庭の豊かなコミュニケーションを生み出すことです。「約束の内容」は、会話のきっかけです。毎日の会話の積み重ねが子どもの笑顔を生み出し、心を育てます。

地域内（県内）の様々な実践から「豊かなコミュニケーションのもとで、わが子の自己肯定感や非認知能力が高められている」「わが子の笑顔は保護者（家族）の笑顔につながっている」ことが分かります。

さらには、親子のコミュニケーション（心のキャッチボール）は、わが子は保護者に援助希求（SOS）しやすいまた保護者はわが子の援助希求（SOS）を受容共感（わが子理解）しやすい関係を日々培っていると感ずります。



是非とも、長期休業（また8のつく日や第3日曜日）はもちろんのこと、園や学校の年間スケジュールや子どもたちの成長の節目に合わせるなど、有効に活用していただければと思います。

◇ R6【中学校版】「話そう！ 語ろう！ わが家の約束」運動のリーフレットの配架 有効活用を！

\* 各中学校には、教育委員会ポスト経由で今月最終週に届くように配架いたします。  
特別支援学校には、同時期に業者より直送されます。

**話そう！ 語ろう！ わが家の約束 運動**  
家庭の豊かなコミュニケーションを生み出す運動です。

**運動の取組方法**

- 1 家族で話し合っ「わが家の約束」をつくりま。
- 2 取組を実践カードに記録します。
- 3 実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- 4 次の約束を話し合います。

**どんな約束をつくればいいの？**

例えば・・・

- ◆ 家族のあいさつを増やそう。
- ◆ 家族のために一緒に食事の準備をしよう。
- ◆ 感謝の気持ちを伝えよう。
- ◆ 1日5分以上は家族で話をしよう。

★ 子どもだけでなく、家族みんなの約束になるように工夫してみましょう。互いに大切にしたいことを伝え合い、約束にするのもいいですね。  
(例：「(お母さん・お父さん・子ども)は、○○するよ。」「家族みんなで○○しよう。」)

**高山市立丹生川中学校の実践例**

- ◆ 家族で取り組んだ感謝を伝えよう。
- ◆ 保護者は、子どもの取り組み姿を見守り、約束が守れた時には一緒に喜び、ほめましょう。
- ◆ 守れなかった時には、守れるように励ましたり、アドバイスをしたりして、子どもの成長を応援しましょう。

約束は、会話のきっかけです！  
毎日の会話の積み重ねが、  
子どもの笑顔を生み出し、  
心を育てます。

**実践を紹介しす**

**高山市立丹生川中学校**  
中学校入学に向けて

中学校と小学校また学校と家庭連携し、子どもたちの成長の節目である中学校1日入学機会に、「話そう！ 語ろう！ わが家の約束」運動に取り組みました。

**家族に1日1回「ありがとう」を伝える**

子どもから家族へ「ありがとう」を言った自分も喜んだ相手も、良い気持ちになったと思います。いつも助けてくれる家族だから、これからの感謝の言葉「ありがとう」を伝えたいです。

家族から子どもへ1日1回ではなくたくさん「ありがとう」と言ってくれました。みんなが「ありがとう」とたくさん言えるようにしたいね。

**ここがイイね!**  
中学校入学前、親子で約束(あて)をつくり、実践し、語り合う時間が、子どもの進学への気持ちを高め、子どもの成長を後押ししています。

**親子の約束づくりのポイント?**  
わが子の成長の機会を捉え、取り組む内容を定める。  
●卒業 ●進学 ●学校行事 ●長期休業 など

**「わが子の姿を応援！」  
「わが子と一緒に成長！」という  
気持ちを大切に取組むと効果もアップ!**

◇ 園・小学校版「話そう！ 語ろう！ わが家の約束」運動のリーフレット 在庫あります！

R6版 垂井町宮代こども園の実践例

**話そう！ 語ろう！ わが家の約束 運動**  
家庭の豊かなコミュニケーションを生み出す運動です。

**運動の取組方法**

- 1 家族で話し合っ「わが家の約束」をつくりま。
- 2 取組を実践カードに記録します。
- 3 実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- 4 次の約束を話し合います。

**どんな約束をつくればいいの？**

例えば・・・

- ◆ 家族みんなですぐ挨拶
- ◆ 家でも大きな声で挨拶
- ◆ タブレット使用は制限する
- ◆ 家族みんなですぐで食事
- ◆ 一日一箇家族の話を伝え合う
- ◆ 一日一回は「ありがとう」の気持ちを伝えよう

**高山市立丹生川小学校の実践例**

- ◆ 家族で取り組んだ感謝を伝えよう。
- ◆ 保護者は、子どもの取り組み姿を見守り、約束が守れた時には一緒に喜び、ほめましょう。
- ◆ 守れなかった時には、守れるように励ましたり、アドバイスをしたりして、子どもの成長を応援しましょう。

約束は、会話のきっかけです！  
毎日の会話の積み重ねが、  
子どもの笑顔を生み出し、  
心を育てます。

R5版 飛騨市立古川小学校の実践例

**話そう！ 語ろう！ わが家の約束 運動**  
家庭の豊かなコミュニケーションを生み出す運動です。

**運動の取組方法**

- 1 家族で話し合っ「わが家の約束」をつくりま。
- 2 取組を実践カードに記録します。
- 3 実践中や実践後に家族で互いの思いを伝え合います。
- 4 次の約束を話し合います。

**どんな約束をつくればいいの？**

例えば・・・

- ◆ 家族みんなですぐ挨拶
- ◆ 家でも大きな声で挨拶
- ◆ 家族みんなですぐで食事
- ◆ 一日一箇家族の話を伝え合う
- ◆ 「ありがとう」の気持ちを伝え合う

**高山市立丹生川小学校の実践例**

- ◆ 家族で取り組んだ感謝を伝えよう。
- ◆ 保護者は、子どもの取り組み姿を見守り、約束が守れた時には一緒に喜び、ほめましょう。
- ◆ 守れなかった時には、守れるように励ましたり、アドバイスをしたりして、子どもの成長を応援しましょう。

約束は、会話のきっかけです！  
毎日の会話の積み重ねが、  
子どもの笑顔を生み出し、  
心を育てます。